

マイクロローン事業者ファンドに関する報告書

報告期間：2022年1月1日～2022年12月31日

(第二種金融商品取引業協会「事業型ファンドの私募の取扱い等に関する規則」に基づくファンド報告書)

標記ファンドの概要などにつき、以下の通り報告申し上げます。

【対象ファンド】

【円建て】マイクロローン事業者ファンド 38, 40, 42 号

【借換】【円建て】マイクロローン事業者ファンド 59, 61 号

【ロシアルーブル建て】マイクロローン事業者ファンド 54, 56, 58 号

【借換】【ロシアルーブル建て】マイクロローン事業者ファンド 70, 71, 72 号

1. 出資対象事業の概況

出資金の用途

本営業者が本件匿名組合契約に基づく出資金を本営業者のグループ会社である Crowdcredit Estonia OÜ（以下、「本営業者グループ会社」といいます。）に貸付け、本営業者グループ会社はこの借入金を原資として本件債務者である IDF Holding Limited（ロシア等で個人向けローンの貸付けを行う事業者のキプロス籍の持ち株会社。以下、グループを総称して、または持ち株会社を個別に、「IDF 社」といいます。）に貸付けを行いました。その後、2022年7月に IDF 社のカザフスタン法人が Solva Group として IDF 社傘下から独立し、基幹メンバーと株主を同じくする兄弟会社として存続しています。

対象ファンドシリーズのこれまでの状況

時期	出来事
2020年4月期 ～同年9月期	本営業者グループ会社は IDF 社に対して、左記期間に返済期限を迎えたローンの返済を最長6か月間猶予 ¹ しました。その後、IDF 社は延長後期日通りに契約

¹ 詳しくは2022年4月14日付「マイクロローン事業者ファンドシリーズ運用状況につきまして（2022年3月期）」【補足：2020年9月期以前の延長経緯】をご覧ください（<https://platform.crowdcredit.jp/operation/entry/2228/17>）。

時期	出来事
	期間延長分の利息を含む元利金を返済しました。
2020年10月期以降	2020年10月期（同年11月払い）以降の分配では対象ファンドシリーズ内の平等性の観点から、延長後の経過期間が長いファンドから順に分配を行いました ² 。
2020年10月期 ～同年11月期	2020年10月期（同年11月払い）の分配で当初満期2020年4月期のファンドが、また、2020年11月期（同年12月払い）の分配で当初満期2020年5月期および2020年6月期のファンドがそれぞれ償還を迎えました。
2020年12月期	<p>本営業者グループ会社がIDF社の返済スケジュールを見直しました。これに伴って本営業者は対象ファンドシリーズに関する分配スケジュールを再度変更³しました。返済スケジュールの見直しは、IDF社から本営業者グループ会社への返済金額を一定の範囲内に抑える内容でした。</p> <p>【返済スケジュール緩和の背景】本営業者グループ会社はIDF社より、同社の足元の資金流動性が①上記の契約期間延長後の返済および②以後訪れる当初満期の返済を同時に履行するのに十分ではないため、毎月の返済および経過利息（当初満期までの利息に加えて延長期間中に発生した利息も含む）の支払いを継続するものの、毎月の返済金額を一定の範囲内に抑えたい旨の要請を受けました。その要請を受けて本営業者グループ会社はIDF社経営陣等との電話会議等を通して確認した情報を精査したうえで、受入れることとし、IDF社から本営業者グループ会社へのローン返済スケジュールを見直しました。</p>
2020年12月期 ～2022年2月期	IDF社は2020年12月期に見直した後の返済スケジュールどおりに返済を行い、本営業者は2020年12月期（2021年1月払い）以降、2022年2月期まで分配スケジュールに沿った分配を順次実施しました ⁴ 。
2022年6月期	IDF社が2万米ドルを返済しました。本営業者は分配方針を変更し、運用中の全ファンドに対して分配を実施しました。
2022年7月期以降	IDF社が可能な限り毎月1万米ドル程度を返済し、本営業者はそれに応じて分配を実施します。

² 詳しくは2020年11月16日付「マイクロローン事業者ファンドシリーズの延長解消に向けて（2020年10月期）」をご覧ください（<https://platform.crowdcredit.jp/operation/entry/1240/17>）。

³ 詳しくは2021年1月18日付「マイクロローン事業者ファンドシリーズ運用状況につきまして（2020年12月期）」をご覧ください（<https://platform.crowdcredit.jp/operation/entry/1367/17>）。

⁴ 詳しくは2022年4月14日付「マイクロローン事業者ファンドシリーズ運用状況につきまして（2022年3月期）」をご覧ください（<https://platform.crowdcredit.jp/operation/entry/2228/17>）。

2022年3月期以降のIDF社の状況

(事業面)

IDF社は主にロシアで事業を展開しています。2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻後、日米欧をはじめ各国がロシアに対する経済制裁を導入するなかで、IDF社のロシア事業および同国と結び付きの強いカザフスタン事業はいずれも一定の影響を受けています。特に当社を含む債権者からの資金調達が徐々に困難になっており、IDF社が計画していた新商品の投入や東南アジア等への展開などの事業拡大戦略は修正を迫られている状況にあります。IDF社は個人向けローンの貸付け事業を継続しているものの、今後両国のマクロ経済環境が悪化した場合にはグループ収益にさらなる下押し圧力がかかると当社は見込んでいます。

(送金面)

現在ロシア政府はロシア国外向けの送金を広範に規制していますが、ロシアに籍を置く法人で所定の条件を満たした場合、月額1,000万ロシアルーブル(日本円で2,000万円相当額)までであれば例外的に国際送金が認められるとの現地報道がございます。一方で、ロシア政府が非友好国に指定する国への送金は政府の事前承認が必要となること、必要書類の提出をはじめ承認プロセスが煩雑であることなどを背景に、実際に国際送金ができるか否かについては確認できていない状況でございます。

このような状況下、IDF社は自社事業ではなく兄弟会社たる Solva Group がカザフスタンで稼得した収益をもとに、本営業者グループ会社へ返済する方法をメインに考えています。Solva Group の資金余剰が限られること、Solva Group と IDF 社との間の送金に関わる兄弟会社間契約を準備している段階であることなどを理由に、対象ファンドシリーズの全額を返済するには至っておりませんが、少額の返済は開始されております。

なお、送金業者の決済サービスや暗号資産を通じたロシアからの国際送金なども当初は検討していましたが、上記の Solva Group からの送金のほうが確度は高いと見込まれること、ロシア政府による送金規制の抜け道と捉えられる手段を利用すると IDF 社が金融事業者としての許認可を取り消される懸念があり、いずれも現時点では断念しております。

今後の返済見通し

当レポート配信時点において、特にロシアにおける送金面の影響を受け、対象ファンドシリーズの全額が返済される時期は見通しが立っていない状況でございます。可能な限り早期での回収完了を目指し、当社は引き続き IDF 社に対して Solva Group からの送金の準備を促して参ります。

また、IDF社は一定の影響を受けながらも事業を継続していること、貸出債権の質の悪化やグループ収益の大幅な低下は見られていないことから、送金ルートが確立され次第対象ファンドシリーズの全額返済がなされるものと当社は見込んでおります。一方で、送金ルートの確立に時間がかかり、その間にロシアおよびカザフスタンのマクロ経済環境の悪化が継続した場合、IDF社の返済能力が低下する可能性がございます。

2. ファンドの財務情報、出資金返還及び利益分配

別紙参照

3. 事業者及び運営者の財務情報

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、エストニアグループ会社およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2021年12月末現在・単位：千円)	1,000	13,924,060	13,939,753	△ 15,692	1,749,015	60	617	547
Crowdcredit Estonia OÜ (2021年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	108,182,360	107,524,536	657,824	12,663,766	2,194	△ 17,708	△ 17,708
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2021年12月末現在・単位：千円)	50,000	16,899,282	16,336,670	562,612	1,926,201	△ 418,142	△ 413,478	△ 415,833

※会計期間(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の金額を記載しております。

4. 分別管理の状況

本ファンドの出資金は、金融商品取引業等に関する内閣府令第125条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に銀行に開設する預金口座へ預金する方法によって、本営業者の固有財産その他本営業者の行う他の事業に係る財産とは分別して管理を行っております。

5. その他

特にございません。

投資家のみなさまにおかれましては、今後とも当社ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

別紙

【円建て】マイクロローン事業者ファンド

号	出資金(単位:円)				貸付金(単位:円)				対象期に係る出資金返還(単位:円)			対象期に係る利益分配(単位:円)		
	投資金額	ヘッジ 担保金	運用 手数料率		当初貸付額	期中返済額 ^{*1,2}	期末貸付額残高	期末未収利息	有無	金額	1万円当り	有無	金額	1万円当り
38	15,770,000	14,855,340	-	5.8%	14,855,340	1,409,895	13,445,445	3,894,714	有	1,409,895	894	無	0	0
40	13,300,000	12,528,600	-	5.8%	12,528,600	1,185,636	11,342,964	3,240,114	有	1,185,636	891	無	0	0
42	10,580,000	9,966,360	-	5.8%	9,966,360	940,626	9,025,734	2,544,534	有	940,626	889	無	0	0
59	3,240,000	3,110,400	-	4.0%	3,110,400	287,185	2,823,215	727,665	有	287,185	886	無	0	0
61	3,470,000	3,320,790	-	4.3%	3,320,790	305,524	3,015,266	762,784	有	305,524	880	無	0	0

*1 期中返済額は運用開始日から2022年12月末までの累計金額を記載しております。

*2 期中返済額は元利息、為替手数料(あれば)および仮払預託金(あれば)を含みます。

【ロシアルーブル建て】マイクロローン事業者ファンド

号	出資金(単位:円)				貸付金(単位:RUB)				対象期に係る出資金返還(単位:円)			対象期に係る利益分配(単位:円)		
	投資金額	ヘッジ 担保金	運用 手数料率		当初貸付額	期中返済額 ^{*1,2}	期末貸付額残高	期末未収利息	有無	金額	1万円当り	有無	金額	1万円当り
54	47,870,000	45,620,110	-	4.7%	26,107,303	31,757,350	2,652,147	346,322	有	43,235,613	9,032	有	5,324,221	1,112
56	23,250,000	22,134,000	-	4.8%	12,464,621	15,091,726	1,260,354	164,579	有	21,011,930	9,037	有	2,064,672	888
58	27,980,000	26,608,980	-	4.9%	15,311,155	1,626,253	13,684,902	6,510,837	有	3,849,669	1,376	無	0	0
70	2,710,000	2,601,600	-	4.0%	1,910,667	187,371	1,723,296	610,433	有	363,526	1,341	有	80,015	295
71	1,890,000	1,787,940	-	5.4%	1,340,878	130,906	1,209,971	420,758	有	276,609	1,464	有	33,268	176
72	1,290,000	1,220,340	-	5.4%	893,301	86,819	806,482	275,225	有	188,261	1,459	有	17,254	134

*1 期中返済額は運用開始日から2022年12月末までの累計金額を記載しております。

*2 期中返済額は元利息、為替手数料(あれば)および仮払預託金(あれば)を含みます。